

ごあいさつ

企業活動が、地球環境に影響をあたえていることが懸念されています。21世紀を迎えた今、日立電線はこのかけがえのない地球環境をまもり次の世代に引き継いで行くことが企業経営の重要課題だと受け止めております。

日立電線は、電線ケーブルや銅管・銅条のような材料分野の製品を多く生産しています。そのため、原材料を溶解するためのエネルギーの消費量や原材料の一つであるプラスチックの廃棄物排出量が比較的多い企業です。私たちはこのことを十分認識し、地球環境に影響をあたえることを最小限にするよう強い問題意識をもって環境への取り組みを行なっております。

日立電線は1972年に環境推進センタを設置して以来、環境保全に積極的に取り組み大気・水質・騒音・振動といった公害対策を推進するとともに、エネルギーの削減や電線のリサイクルを行い資源保護・廃棄物の削減に努めてまいりました。これらの活動を通じて、ISO14001認証は全工場で取得を完了しておりますが、より質の高い環境管理システムをめざすよう更にレベルアップをはかっております。

2000年度には、生産活動にともなうエネルギー・廃棄物の削減、リサイクルの推進とともに、環境に配慮した製品づくりの強化や化学物質管理強化等を目標に、より環境負荷の低減をはかる活動を進めてまいりました。環境配慮製品では、有害物質を含まない「エコグリーン」電線の充実を進めています。また、建設廃材の電線ケーブルを回収しリサイクルするネットワークシステムは順調に運用されております。循環型社会の形成では豊浦工場が「ゼロエミッション運動」を始めました。

これらの環境保護活動内容をここに2001年報告書としてまとめました。当社の環境保護活動に対して、皆様方よりご意見・ご提案をいただければ幸いです。

2001年8月



取締役社長

原 精二